

## 新 著 紹 介

## Chondrus crispus

M. J. HARVEY and J. MCLACHLAN 編 Nova Scotian  
Institute of Science (1973) xiii+155 pp.

“*Chondrus crispus*”と題する本がカナダから出た。日本でいえば，“ツノマタのすべて”あるいは“ツノマタの総合的研究”といった本である。*Chondrus crispus* は紅藻植物、ツノマタ属の海藻で、おもに大西洋の北半球に分布し、カラゲenan (carrageenan) の原藻として広く知られている。英名を Irish moss という。カラゲenanは粘質の多糖で、各種食品、薬品、化粧品などの安定剤または分散剤、あるいは織物の糊料などに使われ需要は大きい。カナダにおける産額は年間3百万ドルに達し、さらにこの物質について二次産業が発達した暁にはその年産額は3千万ドル以上に飛躍することが期待されるという(同誌 xi 頁)。カナダとアメリカの大西洋沿岸におけるもっとも重要な有用海藻であるこの *Chondrus crispus* についての基礎的研究、あるいは増殖、利用に関する研究は過去に随分と行なわれてきたが、まだ解明されない問題が沢山残されている。この本は *Chondrus crispus* の研究を発展させるために、1972年6月、カナダ植物学会とカナダ植物生理学会の共催により実施された *Chondrus crispus* についてのパネルディスカッションの全内容を集録したものである。内容は下記の項目と執筆者からなる。

序, J. MCLACHLAN; 献辞, R. G. S. BIDWELL; *Chondrus crispus* の生物学; 分類と形態と生活史, A. R. A. TAYLOR and L. C. M. CHEN; 細胞学と遺伝学, L. A. HANIC; 生態学, A. C. MATHIESON and J. S. PRINCE; 生理学と生化学, R. G. BUGGELN and J. S. CRAIGIE; 微細構造と組織化学, E. M. GORDON and E. L. McCANDLESS; カラゲenanの化学, W. YAPHE; *Chondrus crispus* に関する文献, E. M. CAMPBELL.

各項はそれぞれ本文、要約、文献、図、写真、質疑応答などからなる。詳細な文献表はさらにこの方面の知識を広めたい人に便利である。

海産植物の生物学一般に興味をもつ人にはよい参考書であり、とくに、ツノマタ属やスギノリ属のように、カラゲenanの原藻となり得る海藻の多い日本では、有用海藻と関係をもつ人に参考となる点が多いと思われる。

購入申込先: The Librarian Nova Scotian Institute of Science  
c/o Science Library Dalhousie University  
Halifax, Canada

価格は送料共並製本は、6カナダドル(邦貨にして約1,600円) 上製本は9カナダドル(邦貨約2,300円)

(千原光雄)